

町民総参加による防災対策の検討～産学官民の防災対策プロジェクト～ (松前町)

【取組概要】

行政に依存する傾向が強かった防災対策について、「自助・共助・公助」の考え方の下、地域・企業・学術・行政がそれぞれの立場で協議・検討し、地域防災計画の見直しや防災に関する実働マニュアルの作成等を行う。

人口 31,069人

担当部署 総務課 危機管理係

【取組みの効果】

組織内の人材と既存予算を有効に活用することで、新たな経費・人を発生させない取組みとなった。また、地域において自主防災組織が中心となった避難訓練が実施されるなど、「自助・共助・公助」の確立に向けた取組みも進展。



自主防災会・防災士会研修会

【他団体へのアドバイス】

大震災後、地域(住民)の防災意識は非常に高い状態となっている。対策を含めた意識を将来世代に継承させていくことが今後重要。

【創意・工夫した点】

- ・防災担当副町長を新設するとともに部課横断型のプロジェクトチームを設置し、全職員の意識を醸成
- ・産学官民を構成メンバーとする会議で課題を検討し、役割分担を明確化することで、町民総参加の機運を醸成



自主防災会による防災訓練